

いわて林業アカデミー
令和6年度
研修カリキュラム
Syllabus 2024



岩手県林業技術センター

Contents

I	いわて林業アカデミー	1
II	研修科目と達成目標	2
III	評価方法と評価基準	4
IV	研修時限数	6
V	年間研修カレンダー	8
VI	月間研修カレンダー	10
VII	取得できる資格の一覧	22
VIII	シラバス	23
	A 林業基礎	24
	B 林業経営	27
	C 安全衛生	30
	D 調査測量	31
	E 路網	34
	F 造林育林	37
	G 素材生産	41
	H 森林保護	46
	I 木材利用	48
	J 特用林産	52
	K 就業体験	56
	L 総合講義	57
IX	いわて林業アカデミーサポートチーム	60

I いわて林業アカデミー

1 研修方針

林業に関する知識や技術を体系的に習得し、将来的に林業経営の中核となる現場技術者を養成します。

安全に関する各種の資格取得や林業機械の実習を重視し、現場で活躍できる人材を養成します。

林業の現場の専門家で構成する「いわて林業アカデミーサポートチーム」の協力により研修の質的充実を図り、林業就業まで全力でサポートします。

2 研修期間 1年

3 定員 15人

4 研修計画

(1) 年間計画

令和6年4月10日(水)から令和7年3月10日(月)まで

(2) 研修日数及び時間

年間214日 1,490時間 (土日祝日は休講)

5 時間割

時限	1	2	3	4	5	6	7
研修時間	9:10～ 10:00	10:10～ 11:00	11:10～ 12:00	13:00～ 13:50	14:00～ 14:50	15:00～ 15:50	16:00～ 16:50
休憩時間	10:00～ 10:10	11:00～ 11:10		13:50～ 14:00	14:50～ 15:00	15:50～ 16:00	

6 講師

(1) 県林業職員

林務行政職員、林業普及指導員、専門研究員等

(2) 外部講師

いわて林業アカデミーサポートチーム、岩手県伐木技術指導員

東北森林管理局職員、森林総合研究所職員、林業事業体職員、指導林家等

7 研修場所

(1) 岩手県林業技術センター

教室、機械研修棟、樹木園、試験地等

(2) 林業の現場

国・県・市町村有林、私有林、木材市場、木材加工工場、特用林産施設等

II 研修科目と達成目標

科目	細目	達成目標
林業基礎	林業の基礎	A 1 森林・林業の基本技術、単位と計算、地図と地形に関する基礎を理解する。
	林業の刃物	A 2 林業用刃物の安全な使用方法を習得する。
	森林法	A 3 森林に関する基本的事項を定めた森林法や森林の役割について理解する。
林業経営	林業経営の基礎	B 1 林家、森林組合、林業事業体の経営、木材価格や流通の仕組みを理解し、仕事のイメージを構築する。
	森林経営計画	B 2 林業経営を持続させるため、森林経営計画の作成と実行に関する基礎を理解する。
	現場管理	B 3 林業経営の効率化を図るため、現場管理、収支予測等に関する基礎を理解する。
安全衛生	安全衛生	C 1 林業の作業を安全に行うため、労働安全に関する基礎を理解する。
調査測量	樹木調査	D 1 林業経営の基礎となる樹木を識別するため、葉や樹皮等から識別する技術を習得する。
	立木調査	D 2 林業経営の基礎となる立木の価値を理解するため、立木の調査技術を習得する。
	森林測量	D 3 ポケットコンパス、オートレベル、GPS等による測量技術を習得する。
路 網	車両系建設機械運転技術	E 1 車両系建設機械(整地・運搬・積込及び掘削)の運転技術を習得する。(労働安全衛生法第76条に掲げる技能講習の取得)
	不整地運搬車運転技術	E 2 不整地運搬車の運転技術を習得する。(労働安全衛生法第76条に掲げる技能講習の取得)
	林道・森林作業道	E 3 林道・森林作業道の重要性を理解し、その設計と作設技術を習得する。
造林育林	造林・更新	F 1 林業を持続させるため、人工造林と天然更新に関する基礎知識・技術を習得する。
	刈払い・下刈	F 2 刈払い機等の安全な操作技術を習得する。(平成12年2月16日付け基発第66号による安全衛生教育の取得を含む)
	間伐	F 3 林木を健全に育成するため、間伐の重要性を理解し、基礎的な間伐技術を習得する。
	つる切、除伐、枝打等	F 4 林木を健全に育成するための保育作業の重要性を理解し、基礎的な作業技術を習得する。

科目	細目	達成目標
素材生産	チェーンソー伐木造材技術	G 1 チェンソー等の安全な操作技術を習得する。(労働安全衛生規則第36条第8号に掲げる業務に係る特別教育の取得を含む)
	高性能林業機械運転技術	G 2 伐木等機械の運転技術を習得する。(労働安全衛生規則第36条第6号の2、3及び第7号の2に掲げる業務に係る特別教育の取得を含む)
	玉掛け技術	G 3 玉掛け技術を習得する。(労働安全衛生法第76条に掲げる技能講習の取得)
	小型移動式クレーン運転技術	G 4 小型移動式クレーンの運転技術を習得する。(労働安全衛生法第76条に掲げる技能講習の取得)
	素材生産総合技術	G 5 素材生産に必要な基礎知識・技術を習得する。
森林保護	森林保護対策	H 1 健全な森林を維持するため、森林被害と保護対策に関する基礎知識・技術を習得する。
	鳥獣害対策	H 2 健全な森林を維持するため、特に鳥獣による被害と保護対策に関する基礎知識・技術を習得する。
木材利用	原木市場	I 1 原木の種類、規格、品質、価格等、素材生産に係る基礎を理解する。
	木材加工	I 2 木材の利用、加工及び需要等、素材生産に係る基礎を理解する。
	木造建築	I 3 木造建築に触れ、木材利用の歴史、文化を理解する。
	木質バイオマス利用	I 4 木材のエネルギー利用に関する基礎を理解する。
特用林産	原木シイタケ生産	J 1 原木シイタケ生産の基礎を理解する。
	木炭生産	J 2 木炭生産の基礎を理解する。
	漆生産	J 3 漆生産の基礎を理解する。
	林間ワサビ生産	J 4 林間ワサビ生産の基礎を理解する。
就業体験	就業体験	K 1 林業事業体の仕事を体験し、林業への理解を深めるとともに、働くイメージを構築する。
総合講義	オリエンテーション	L 1 社会人としての規律・規範意識、職場環境改善のイメージを構築する。
	社会人基礎	L 2 職場や地域社会で多様な人々と仕事をしていくために必要な基礎を理解する。
	地域交流活動	L 3 豊かな地域づくりを行うための活動に参加し、地域交流活動の意義を理解する。

III 評価方法と評価基準

1 評価方法

研修内容の理解度、技術の習得度等については、各シラバスにおいて、次の項目を評価します。

病気、負傷その他やむを得ない事情により出講またはテスト等を受けることができないときは、補講または再テストを受けることができます。

- (1) 出講時限数
各シラバスに定める全時限数に対する出講時限数の割合
- (2) 理解度テスト
指定のシラバスにおける理解度テストの配点に対する得点の割合
- (3) 技能テスト、資格取得または研修レポート
指定のシラバスにおける技能テスト、資格取得または研修レポートの配点に対する得点の割合
- (4) 補講と再テスト
「D」評価等、習得基準に達していないと認められる場合は、補講又は再テストを行う。

各シラバスにおける
評価 = 出講時限数
評価 + 理解度テスト
評価 + 技能テスト、資格取得また
は研修レポート評価

【表記例】 AAA (A) (A) (A)

2 評価基準

(1) 出講時限数

出講時限数/ 全時限数	90%以上	90%未満 70%以上	70%未満 50%以上	50%未満
評価	A	B	C	D

(2) 理解度テスト

得点/ 配点	80%以上	80%未満 60%以上	60%未満 40%以上	40%未満
評価	A	B	C	D

(3) 技能テスト、資格取得または研修レポート

得点/ 配点	80%以上	80%未満 60%以上	60%未満 40%以上	40%未満
評価	A	B	C	D



IV 研修時限数

科目	細目		講義	実習	計	摘要
林業基礎 35	林業の基礎	A 1	7	2	9	
	林業の刃物	A 2	3	6	9	
	森林法	A 3	7	10	17	
林業経営 81	林業経営の基礎	B 1	11	20	31	
	森林経営計画	B 2	8	13	21	
	現場管理	B 3	11	18	29	
安全衛生 42	安全衛生	C 1	22	20	42	救命講習
調査測量 87	樹木調査	D 1	5	7	12	
	立木調査	D 2	4	17	21	
	森林測量	D 3	9	45	54	
路 網 137	車両系建設機械運転技術	E 1	14	28	42	車両系建設機械(整地・運搬・積込及び掘削)運転技能講習
	不整地運搬車運転技術	E 2	7	14	21	不整地運搬車運転技能講習
	林道・森林作業道	E 3	9	65	74	
造林育林 177	造林・更新	F 1	9	26	35	
	刈払い・下刈	F 2	10	46	56	刈払機取扱作業者に対する安全衛生教育を含む
	間伐	F 3	6	64	70	
	つる切、除伐、枝打等	F 4	2	14	16	

科目	細目		講義	実習	計	摘要
素材生産 389	チェンソー伐木造材技術	G 1	20	155	175	伐木等の業務従事者に係る特別教育を含む
	高性能林業機械運転技術	G 2	24	75	99	伐木等、走行集材、簡易架線集材装置又は架線集材機械の運転の業務特別教育を含む
	玉掛け技術	G 3	14	7	21	玉掛け技能講習
	小型移動式クレーン運転技術	G 4	14	7	21	小型移動式クレーン運転技能講習
	素材生産総合技術	G 5	3	70	73	
森林保護 35	森林保護対策	H 1	2	12	14	
	鳥獣害対策	H 2	6	15	21	
木材利用 35	原木市場	I 1	2	5	7	
	木材加工	I 2	8	11	19	
	木造建築	I 3	2	1	3	
	木質バイオマス利用	I 4	4	2	6	
特用林産 39	原木シイタケ生産	J 1	5	13	18	
	木炭生産	J 2	2	5	7	
	漆生産	J 3	2	5	7	
	林間ワサビ生産	J 4	2	5	7	
就業体験 185	就業体験	K 1	2	183	185	
総合講義 248	オリエンテーション	L 1	9	3	12	
	社会人基礎	L 2	37	150	187	
	地域交流活動	L 3	4	45	49	
合計			306	1,184	1,490	

V 年間研修カレンダー

	4	5	6	7	8	9	
1	月	水 アカデミー休日	土	月	木	日	1
2	火	木 アカデミー休日	日	火	金	月	2
3	水	金 憲法記念日	月	水	土	火	3
4	木	土 みどりの日	火	木	日	水	4
5	金	日 こどもの日	水	金	月	木	5
6	土	月 振替休日	木	土	火	金	6
7	日	火	金	日	水	土	7
8	月	水	土	月	木	日	8
9	火	木	日	火	金	月	9
10	水 開講	金	月	水 就業体験	土	火	10
11	木	土	火	木 就業体験	日 山の日	水	11
12	金	日	水	金 就業体験	月 振替休日	木	12
13	土	月	木	土	火 夏季休暇	金	13
14	日	火	金	日	水 夏季休暇	土	14
15	月	水	土	月 海の日	木 夏季休暇	日	15
16	火	木	日	火	金 夏季休暇	月 敬老の日	16
17	水	金	月	水	土	火	17
18	木	土	火	木	日	水	18
19	金	日	水	金	月	木	19
20	土	月	木	土	火	金	20
21	日	火	金	日	水	土	21
22	月	水	土	月	木	日 秋分の日	22
23	火	木	日	火	金	月 振替休日	23
24	水	金	月	水	土	火	24
25	木	土	火	木 アカデミーオープンキャンパス	日	水	25
26	金	日	水	金 アカデミーオープンキャンパス	月	木	26
27	土	月	木	土	火	金	27
28	日	火	金	日	水	土 センター一般公開	28
29	月 昭和の日	水	土	月	木	日	29
30	火 アカデミー休日	木	日	火	金	月 9/28振替休日	30
31		金		水	土		31
	研修日数	13	19	20	22	17	19

	10	11	12	1	2	3		
1	火	金	日	水 元日	土	土	1	
2	水	土	月 就業体験	木 年末年始休暇	日	日	2	
3	木	日 文化の日 林業イベント	火 就業体験	金 年末年始休暇	月	月	3	
4	金	月 振替休日	水 就業体験	土	火	火	4	
5	土 森の感謝祭	火 11/3振替休日	木	日	水	水	5	
6	日	水	金	月	木	木	6	
7	月 就業体験	木	土	火	金	金	7	
8	火 就業体験	金	日	水	土	土	8	
9	水 就業体験	土	月	木	日	日	9	
10	木 就業体験	日	火	金	月 アカデミー休日	月 閉講	10	
11	金 就業体験	月	水	土	火 建国記念の日	火	11	
12	土	火	木	日	水	水	12	
13	日	水	金	月 成人の日	木	木	13	
14	月 スポーツの日	木	土	火	金	金	14	
15	火 就業体験	金	日	水	土	土	15	
16	水 就業体験	土	月	木	日	日	16	
17	木 就業体験	日	火	金	月	月	17	
18	金 就業体験	月	水	土	火	火	18	
19	土	火	木	日	水	水	19	
20	日	水	金	月	木	木 春分の日	20	
21	月	木 就業体験	土	火	金	金	21	
22	火	金 就業体験	日	水	土	土	22	
23	水	土 勤労感謝の日	月	木	日 天皇誕生日	日	23	
24	木	日	火	金	月 2/23振替休日	月	24	
25	金	月 就業体験	水	土	火	火	25	
26	土	火 就業体験	木	日	水	水	26	
27	日	水 就業体験	金 年末年始休暇	月	木	木	27	
28	月	木 就業体験	土	火	金	金	28	
29	火	金 就業体験	日 年末年始休暇	水	\	土	29	
30	水	土	月 年末年始休暇	木		日	30	
31	木		火 年末年始休暇	金		月	31	
	23	20	19	19	17	6		
	研修日数計						214	

5月

日\時限	1	2	3	4	5	6	7	摘要
1 水								アカデミーの休日
2 木								アカデミーの休日
3 金								憲法記念日
4 土								みどりの日
5 日								こどもの日
6 月								振替休日
7 火	J1 原木シイタケ生産							
8 水	B1 林業経営の基礎 林業の仕事							サポートチーム (有)二和木材
9 木	G1 チェンソー伐木造材技術							
10 金	F1 造林・更新 地拵え、苗木生産							サポートチーム 岩手県山林種苗協同組合
11 土								
12 日								
13 月	G1 チェンソー伐木造材技術							サポートチーム ハスクバーナ・ゼノア(株)
14 火	G1 チェンソー伐木造材技術							サポートチーム ハスクバーナ・ゼノア(株)
15 水	G1 チェンソー伐木造材技術							
16 木	F1 造林・更新 地拵え							
17 金	G1 チェンソー伐木造材技術			C1 安全衛生				
18 土								
19 日								
20 月	I1 原木市場 木材流通センター			A2 林業の刃物			C1 安全衛生	サポートチーム 岩手県森林組合連合会
21 火	F1 造林・更新 植栽 森林総合研究所東北支所							
22 水	F1 造林・更新 植栽 森林総合研究所東北支所							
23 木	E1 車両系建設機械運転技術 車両系建設機械(整地・運搬・積込及び掘削用)運転技能講習							
24 金	E1 車両系建設機械運転技術 車両系建設機械(整地・運搬・積込及び掘削用)運転技能講習							
25 土								
26 日								
27 月	F1 造林・更新 天然更新							サポートチーム 小岩井農牧(株)山林部
28 火	D2 立木調査							サポートチーム (一社)岩手県治山林道協会
29 水	D2 立木調査							サポートチーム (一社)岩手県治山林道協会
30 木	H1 森林保護対策							
31 金	H1 森林保護対策							

7月

日\時限	1	2	3	4	5	6	7	摘要
1 月	G1 チェンソー伐木造材技術							
2 火	G1 チェンソー伐木造材技術							
3 水	H2 鳥獣害対策							
4 木	H2 鳥獣害対策							
5 金	L2 社会人基礎 プレゼンテーション							
6 土								
7 日								
8 月	F2 刈払い・下刈							サポートチーム 小岩井農牧(株)山林部
9 火	F2 刈払い・下刈						K1 就業体験 準備	サポートチーム 小岩井農牧(株)山林部
10 水	K1 就業体験							サポートチーム サポートチーム構成員
11 木	K1 就業体験							サポートチーム サポートチーム構成員
12 金	K1 就業体験							サポートチーム サポートチーム構成員
13 土								
14 日								
15 月								海の日
16 火	K1 就業体験 体験報告準備			K1 就業体験 体験報告				
17 水	C1 安全衛生 救命講習			F2 刈払い・下刈				
18 木	J3 漆生産							
19 金	L3 地域交流活動 アカデミーオープンキャンパス準備							
20 土								
21 日								
22 月	G3 玉掛け技術 玉掛け技能講習 ボイラ・クレーン安全協会							
23 火	G3 玉掛け技術 玉掛け技能講習 ボイラ・クレーン安全協会							
24 水	G3 玉掛け技術 玉掛け技能講習 ボイラ・クレーン安全協会							
25 木	L3 地域交流活動 アカデミーオープンキャンパス							
26 金	L3 地域交流活動 アカデミーオープンキャンパス							
27 土								
28 日								
29 月	G2 高性能林業機械運転技術							
30 火	G1 チェンソー伐木造材技術							
31 水	G1 チェンソー伐木造材技術							

10月

日\時限	1	2	3	4	5	6	7	摘要
1 火	D3 森林測量 ドローン							サポートチーム 国土防災技術(株)盛岡支店
2 水	C1 安全衛生 林業と電力			B1 林業経営の基礎 林家				サポートチーム クイック(株)
3 木	B1 林業経営の基礎 木材流通							サポートチーム ノースジャパン素材流通協同組合
4 金	B1 林業経営の基礎 木材流通						K1 就業体験 準備	サポートチーム ノースジャパン素材流通協同組合
5 土	L3 地域交流活動							森の感謝祭
6 日								
7 月	K1 就業体験							サポートチーム構成員
8 火	K1 就業体験							サポートチーム構成員
9 水	K1 就業体験							サポートチーム構成員
10 木	K1 就業体験							サポートチーム構成員
11 金	K1 就業体験							サポートチーム構成員
12 土								
13 日								
14 月								スポーツの日
15 火	K1 就業体験							サポートチーム構成員
16 水	K1 就業体験							サポートチーム構成員
17 木	K1 就業体験							サポートチーム構成員
18 金	K1 就業体験							サポートチーム構成員
19 土								
20 日								
21 月	K1 就業体験 体験報告準備			K1 就業体験 体験報告				
22 火	B1 林業経営の基礎 林業事業体							サポートチーム 岩手県国有林材生産協同組合連合会
23 水	B2 森林経営計画							
24 木	B2 森林経営計画							
25 金	B2 森林経営計画							
26 土								
27 日								
28 月	F4 つる切、除伐、枝打等 特殊伐採							サポートチーム (株)徳風
29 火	A3 森林法 森林の役割 東北森林管理局盛岡森林管理署							
30 水	I3 木造建築 木造住宅			I1 原木市場 木材流通センター				サポートチーム 岩手県森林組合連合会
31 木	I4 木質バイオマス利用 電力			I2 木材加工 集成材				サポートチーム 岩手県木材産業協同組合

12月

日\時限	1	2	3	4	5	6	7	摘要
1 日								
2 月	K1 就業体験							サポートチーム構成員
3 火	K1 就業体験							サポートチーム構成員
4 水	K1 就業体験							サポートチーム構成員
5 木	K1 就業体験							サポートチーム構成員
6 金	K1 就業体験							サポートチーム構成員
7 土								
8 日								
9 月	G4 小型移動式クレーン運転技術 小型移動式クレーン運転技能講習 ボイラ・クレーン安全協会							
10 火	G4 小型移動式クレーン運転技術 小型移動式クレーン運転技能講習 ボイラ・クレーン安全協会							
11 水	G4 小型移動式クレーン運転技術 小型移動式クレーン運転技能講習 ボイラ・クレーン安全協会							
12 木	A3 森林法 森林の役割 東北森林管理局盛岡森林管理署							
13 金	K1 就業体験 体験報告準備			K1 就業体験 体験報告				
14 土								
15 日								
16 月	H2 鳥獣害対策							
17 火	I2 木材加工 製材				I4 木質バイオマス利用 熱			サポートチーム 岩手県木材産業協同組合
18 水	L2 社会人基礎 自己啓発							
19 木	L2 社会人基礎 自己啓発							
20 金	L2 社会人基礎 自己啓発							
21 土								
22 日								
23 月	L2 社会人基礎 自己啓発							
24 火	L2 社会人基礎 自己啓発							
25 水	L2 社会人基礎 自己啓発							
26 木	L2 社会人基礎 自己啓発							
27 金	年末年始休暇							
28 土								
29 日	年末年始休暇							
30 月	年末年始休暇							
31 火	年末年始休暇							

1月

日\時限	1	2	3	4	5	6	7	摘要
1 水								元日
2 木	年末年始休暇							
3 金	年末年始休暇							
4 土								
5 日								
6 月	L2 社会人基礎 自己啓発							
7 火	L2 社会人基礎 自己啓発							
8 水	L2 社会人基礎 自己啓発							
9 木	L2 社会人基礎 自己啓発							
10 金	L2 社会人基礎 自己啓発							
11 土								
12 日								
13 月								成人の日
14 火	C1 安全衛生			B3 現場管理				
15 水	C1 安全衛生			B3 現場管理				
16 木	B3 現場管理							
17 金	B3 現場管理							サポートチーム 岩手県森林整備協同組合
18 土								
19 日								
20 月	D3 森林測量							
21 火	D2 立木調査							
22 水	G2 高性能林業機械運転技術 機械製造工場			I2 木材加工 チップ、パルプ製造				サポートチーム イワフジ工業(株)・岩手県チップ協同組合
23 木	D1 樹木調査							
24 金	B3 現場管理							
25 土								
26 日								
27 月	G1 チェンソー伐木造材技術							
28 火	I2 木材加工 合板							
29 水	G1 チェンソー伐木造材技術							
30 木	G1 チェンソー伐木造材技術							
31 金	C1 安全衛生	G2 高性能林業機械運転技術						

2月

日\時限	1	2	3	4	5	6	7	摘要
1 土								
2 日								
3 月	G2 高性能林業機械運転技術							
4 火	G2 高性能林業機械運転技術							
5 水	G2 高性能林業機械運転技術							
6 木	C1 安全衛生	G2 高性能林業機械運転技術						サポートチーム (株)レンタルのニッケン北東北支店
7 金	J1 原木シイタケ生産							
8 土								
9 日								
10 月								アカデミーの休日
11 火								建国記念の日
12 水	G5 素材生産総合技術 馬搬							
13 木	G1 チェンソー伐木造材技術							
14 金	G5 素材生産総合技術							
15 土								
16 日								
17 月	G5 素材生産総合技術							
18 火	G5 素材生産総合技術							
19 水	G5 素材生産総合技術							
20 木	G5 素材生産総合技術							
21 金	G5 素材生産総合技術							
22 土								
23 日								天皇誕生日
24 月								振替休日
25 火	G5 素材生産総合技術							
26 水	G5 素材生産総合技術							
27 木	G5 素材生産総合技術							
28 金	G1 チェンソー伐木造材技術							サポートチーム (株)スチール

VII 取得できる資格の一覧

■ 技能講習

- 車両系建設機械（整地・運搬・積込み用及び掘削用）運転技能講習
- 不整地運搬車運転技能講習
- 小型移動式クレーン運転技能講習
- 玉掛け技能講習

■ 特別教育

- 伐木等の業務従事者に係る特別教育
- 伐木等機械の運転の業務に係る特別教育
- 走行集材機械の運転の業務に係る特別教育
- 簡易架線集材装置等の運転の業務に係る特別教育

■ 安全衛生教育

- 刈払機取扱作業者に対する安全衛生教育

■ その他の講習

- 救命講習



VIII シラバス





林業の基礎

背景と目的

森林や木材で用いる単位や計算方法等の基礎知識、林業の歴史や社会的使命、地図と地形に関する基礎を理解する。

科目内容

森林の面積や材積、重量等の単位と計算方法、林業の歴史や社会的使命、地図と地形等、林業経営の基本知識。

到達目標

- ・森林・林業の使命や歴史等を講義し基本技術を学ぶ。
- ・林業で用いる単位や計算方法を演習を通して習得する。
- ・図面を使いながら地図や地形の見方を習得する。

講義内容及び時間数

内容	時期	講義	実習
・森林、林業、木材に関する基礎知識	4/11	1	
・面積、材積の単位と計算		1	
・重量、角度、力の単位と計算	4/12	1	
・林業の使命、歴史、現状		2	
・ロープワークの基礎技術			1
・地図と地形に関する基礎知識	4/17	1	
・丸太の見方、測り方	4/18	1	1
計		7	2

評価方法と基準(4頁の「評価基準」による。)

- ・出講時間数、理解度テスト、技能テストにより評価する。
- ・技能テストは、ロープワークとする。

A1 林業基礎

林業の基礎			
担当	正	小田 善昭	
	副	中山 英明	
講師	団体・企業名		サポート
	(国研)森林総合研究所東北支所		
	林業普及指導員		
	専門研究員		

研修時期と時間数

単位:時限

時期	講義	実習	計
R6.4.11 木 - 4.18 木	7	2	9
計	7	2	9

研修場所

- ・教室
- ・機械研修棟、樹木園

研修教材

- ・林業実践ブック
- ・関数電卓等の計算器具
- ・検尺等の測定器具
- ・ロープ

参考書

—



鉋のメンテナンス

背景と目的

林業で使用する刃物類の安全な使用方法を習得する。

科目内容

鉋、鋸、鎌等の林業で使用する刃物の基礎知識と安全な使用方法。

到達目標

- ・刃物の基礎知識を習得する。
- ・鉋、鎌、斧、鉋、鋸、トビを安全に使用できる。
- ・刃物類を研ぐなどのメンテナンスができる。
- ・使用時の装着や保管など適切に管理することができる。

講義内容及び時間数

内容	時期	講義	実習
・刃物の基礎知識	4/17	2	2
・鉋、鎌、斧、鉋、鋸、トビの用途と使い方			2
・刃物のメンテナンス	5/20	1	2
・道具の管理			
計		3	6

評価方法と基準(4頁の「評価基準」による。)

- ・出講時限数、理解度テスト、技能テストにより評価する。
- ・技能テストは、道具の管理とする。

A2 林業基礎

林業の刃物

担当	正	佐々木 純也	
	副	小田 善昭	
講師	団体・企業名		サポート
	(有)樋口金物機工		○
	素材生産事業体		
	専門研究員		

研修時期と時限数

単位:時限

時期	講義	実習	計
R6.4.17 水	2	4	6
R6.5.20 月	1	2	3
計	3	6	9

研修場所

- ・教室、機械研修棟
- ・別途指定の現場

研修教材

- ・林業実践ブック
- ・鉋、鎌、斧、鉋、鋸、トビ
- ・メンテナンス道具

参考書

—



国有林現場視察

背景と目的

森林法に基づく林業経営に関する主要な制度、関連する事業の実施状況について理解する。

科目内容

森林法に基づく主要制度、保安林のしくみ、森林計画制度、保安林の復旧事業。

到達目標

- ・森林計画制度について理解している。
- ・保安林制度・保安施設について理解している。
- ・開発行為、許可制度について理解している。
- ・国土保全等の森林の役割について理解している。

講義内容及び時間数

内容	時期	講義	実習
・伐採及び伐採後の造林の届出	8/19	3	
・森林経営計画			
・保安林			
・開発行為、土地の使用	10/29	2	5
・国有林と民有林			
・全国森林計画、地域森林計画	12/12	1	2
・市町村森林整備計画			
・国有林の管理経営			
計		7	10

評価方法と基準(4頁の「評価基準」による。)

- ・出講時間数、理解度テストにより評価する。

A3 林業基礎

森林法			
担当	正	多田野 修	
	副	中山 英明	
講師	団体・企業名		サポート
	東北森林管理局盛岡森林管理署		
	県森林保全課		
	林業普及指導員		
	専門研究員		

研修時期と時限数

単位:時限

時期	講義	実習	計
R6.8.19 月	3		3
R6.10.29 火	2	5	7
R6.12.12 木	2	5	7
計	7	10	17

研修場所

- ・教室
- ・別途指定の現場

研修教材

- ・林業実践ブック
- ・別途配付

参考書

—



林家の林業経営

背景と目的

林家、森林組合、林業事業体の経営、木材価格や流通の仕組みを学習し、様々な林業経営を理解する。

科目内容

林家の林業経営、林業事業体・森林組合の林業経営、木材価格・流通の基礎知識と近年の動向、木材運送に関する基礎知識。

到達目標

- ・林家の林業経営を理解している。
- ・森林組合の林業経営を理解している。
- ・林業事業体の林業経営を理解している。
- ・木材価格の概況、木材流通の仕組みを理解している。

講義内容及び時間数

内容	時期	講義	実習
・林業経営の基礎知識	5/8	2	5
・林家の仕事の視察	10/2		4
・森林組合の林業経営の視察	10/3	2	5
・木材価格、需給、流通の基礎知識	10/4	5	1
・木材運送の基礎知識			
・林業事業体の林業経営の視察	10/22	2	5
計		11	20

評価方法と基準(4頁の「評価基準」による。)

- ・出講時限数、理解度テストにより評価する。

B1 林業経営

林業経営の基礎

担当	正	久保 真理子	
	副	中山 英明	
講師	団体・企業名		サポート
	岩手県国有林材生産協同組合連合会		○
	ノースジャパン素材流通協同組合		○
	(有)二和木材		○
	指導林家		

研修時期と時限数

単位:時限

時期	講義	実習	計
R6.5.8 水	2	5	7
R6.10.2 水 - 10.4 金	7	10	17
R6.10.22 火	2	5	7
計	11	20	31

研修場所

- ・教室
- ・別途指定の現場

研修教材

- ・林業実践ブック
- ・別途配付

参考書

—



林業経営体の視察

背景と目的

施業の集約化は本県の林業経営の重要課題であり、集約化に必要な森林経営計画制度、提案型施業、関連する基礎知識の習得が必要。

科目内容

森林経営計画の概要、森林経営計画作成の進め方、森林所有者と境界確認、路網と森林施業計画書、事業コスト、提案型集約化施業、先進的林業経営体の状況。

到達目標

- ・森林経営計画の基礎を学ぶ。
- ・森林施業の集約化、施業提案の基礎を学ぶ。

講義内容及び時間数

内容	時期	講義	実習
・森林経営計画の概要	10/23	3	4
・森林経営計画作成の進め方			
・森林所有者と境界確認	10/24	3	4
・路網と森林施業計画			
・事業とコストの基礎	10/25	2	5
・提案型集約化施業の基礎			
・先進的林業経営体の視察			
計		8	13

評価方法と基準(4頁の「評価基準」による。)

- ・出講時限数、理解度テストにより評価する。

B2 林業経営

森林経営計画			
担当	正	久保 真理子	
	副	中嶋 康	
講師	団体・企業名		サポート
	認定森林施業プランナー		
	県森林整備課 林業普及指導員		

研修時期と時限数

単位:時限

時期	講義	実習	計
R6.10.23 水 - 10.25 金	8	13	21
計	8	13	21

研修場所

- ・教室
- ・別途指定の現場

研修教材

- ・別途配付

参考書

- ・森林施業プランナーテキスト改訂版



現場管理の基礎

背景と目的

林業経営の基本的事項である、現場管理に関する知識、技術を習得する。

科目内容

現場管理の基礎、作業計画書の作成、リスクアセスメント、林業事業体の現場管理、公共事業での現場管理状況、施業に必要な経費と現場ごとの収支予測。

到達目標

- ・現場管理の基本的事項を理解している。
- ・現場の収支予測を理解している。
- ・林業事業体・公共事業の現場管理を理解している。

講義内容及び時間数

内容	時期	講義	実習
・現場管理の基礎	1/14	4	
・作業計画書の作成とリスクアセスメント	1/15	4	
・先進的林業経営体の視察	1/16		7
・公共事業の現場管理	1/17		7
・施業に係る経費と収入	1/24	3	4
・現場の収支予測			
・年間事業計画			
計		11	18

評価方法と基準(4頁の「評価基準」による。)

- ・出講時間数、理解度テストにより評価する。

B3 林業経営

現場管理

担当	正	久保 真理子	
	副	小田 善昭	
講師	団体・企業名		サポート
	岩手県森林整備協同組合		○
	認定森林施業プランナー		
	林業普及指導員		

研修時期と時限数

単位:時限

時期	講義	実習	計
R7.1.14 火 - 1.17 金	8	14	22
R7.1.24 金	3	4	7
計	11	18	29

研修場所

- ・教室
- ・別途指定の現場

研修教材

- ・別途配付

参考書

- ・森林施業プランナーテキスト改訂版



救命講習

目的

林業の作業を安全に行うため、労働安全に関する基礎を理解する。

科目内容

安全装備・動作の基本、林業の危険因子、関係法令、緊急連絡と応急手当、現場の事故事例、安全なかかり木処理、リスクアセスメント、VRによる危険の疑似体験。

到達目標

- ・森林・林業に潜む危険と対策等を理解している。
- ・作業の安全に関する関係法令について理解している。
- ・事故発生時の対応や応急手当の基本等を習得している。
- ・安全な作業方法を学び、安全意識が身についている。

講義内容及び時間数

内容	時期	講義	実習
・安全装備と道具、動作の基本	4/11	1	
・動作の基本		1	
・森林・林業に潜む危険と対策	4/12	1	
・熱中症、蜂刺され対策			
・準備運動とストレッチ	4/18		1
・関係法令	4/22-2/6	7	
・危険の疑似体験 (VR)	5/17		4
・緊急連絡と応急手当	6/25	2	
・心肺蘇生法、止血法	7/17		3
・現場で起きている事故	8/26-9/2	4	2
・事故発生に伴う緊急連絡	10/2	1	2
・安全なかかり木処理	11/1	3	4
・リスクアセスメント	1/14-15	2	4
計		22	20

評価方法と基準(4頁の「評価基準」による。)

- ・出講時間数、理解度テスト、技能テストにより評価する。
- ・技能テストは、救命講習、リスクアセスメント作成とする。

C1 安全衛生

安全衛生			
担当	正	小田 善昭	
	副	中山 英明	
講師	団体・企業名		サポート
	クイック(株)		○
	ハスクバーナ・ゼノア(株)		○
	盛岡南消防署矢巾分署 専門研究員		

研修時期と時限数

単位:時限

時期	講義	実習	計
R6.4.11 木 - 4.22 月	5		5
R6.5.17 金 - 5.20 月		5	5
R6.6.25 火	2		2
R6.7.17 水		3	3
R6.8.26 月 - 9.2 月	4	2	6
R6.9.17 火	3		3
R6.10.2 水	1	2	3
R6.11.1 金	3	4	7
R7.1.14 火 - 1.31 金	3	4	7
R7.2.6 木	1		1
計	22	20	42

研修場所

- ・教室、大講義室、機械研修棟
- ・別途指定の現場

研修教材

- ・林業実践ブック
- ・別途配付
- ・VRシミュレーター

参考書

—



樹木の判別

背景と目的

森林管理、林業経営の基本的知識として主要な樹木を葉や樹皮等から判別する知識を習得する。

科目内容

樹形、葉、樹皮、冬芽による樹木判別。
樹木ごとの材の特徴と用途。

到達目標

- ・主要な樹木を判別することができる。
- ・主要な樹木の材の特徴と用途を説明できる。

講義内容及び時間数

内容	時期	講義	実習
・樹木の識別(樹形、葉、樹皮)	6/3	2	1
・樹木の識別(樹皮、断面)			
・樹木の特徴と用途	8/19	1	1
・樹木の識別(冬芽)	1/23	2	5
計		5	7

評価方法と基準(4頁の「評価基準」による。)

- ・出講時間数、理解度テストにより評価する。

D1 調査測量

樹木調査

担当	正	小澤 洋一
	副	中山 英明
講師	団体・企業名	
	林業普及指導員	
	専門研究員	
	サポート	

研修時期と時限数

単位:時限

時期	講義	実習	計
R6.6.3 月	2	1	3
R6.8.19 月	1	1	2
R7.1.23 木	2	5	7
計	5	7	12

研修場所

- ・教室、樹木園等
- ・盛岡木材流通センター

研修教材

- ・林業実践ブック
- ・別途配付

参考書

- ・葉で見わかる樹木
- ・樹皮ハンドブック



立木調査

背景と目的

林業経営の基礎となる立木の価値を把握するためには、立木の調査方法を習得する。

科目内容

胸高直径、樹高の測定、立木の数量の計算方法、標準地法とビッターリッヒ法による林分材積の把握。

到達目標

- ・立木の胸高直径、樹高、材積を測定できる。
- ・立木の測定器具を使用できる。
- ・林分の材積等を算出できる。

講義内容及び時間数

内容	時期	講義	実習
・直径の測り方	5/28-29	1	3
・樹高の測り方		1	3
・標準地法とビッターリッヒ法		1	3
・立木の数量計算方法		1	1
・立木調査	1/21		7
計		4	17

評価方法と基準(4頁の「評価基準」による。)

- ・出講時間数、理解度テスト、技能テストにより評価する。
- ・技能テストは、立木の数量計算とする。

D2 調査測量

立木調査

担当	正	久保 真理子	
	副	高橋 淳	
講師	団体・企業名		サポート
	(一社)岩手県治山林道協会		○
	林業普及指導員		
	専門研究員		

研修時期と時限数

単位:時限

時期	講義	実習	計
R6.5.28 火 - 5.29 水	4	10	14
R7.1.21 火		7	7
計	4	17	21

研修場所

- ・教室、樹木園等
- ・別途指定の現場

研修教材

- ・林業実践ブック
- ・輪尺、樹高測定器
- ・巻尺、測量ポール、竿

参考書

—



コンパス測量の基礎

背景と目的

施業地の測量は森林管理の基本技術であり、ポケットコンパス等の従前の技術に加え、近年進展が著しく、施業管理の効率化が期待されるGNSS、GIS、UAVに関する知識と技術を習得する。

科目内容

ポケットコンパス、GNSS、UAV等による測量技術及びGIS等によるデータの管理・解析技術を習得する。

到達目標

- ・測量の基礎知識と基礎技術を習得する。
- ・GNSS及びコンパスを使用し、測量や施業地管理ができる。
- ・測量成果をGISにより管理できる。
- ・UAVを安全に飛行させ、画像データ等を取得できる。
- ・UAVにより取得した三次元データ取得とデータ解析について理解している。

講義内容及び時間数

(1) 測量の基礎

内容	時期	講義	実習
・測量の基礎知識・基本操作	9/9	2	5
・ポケットコンパス、オートレベル、GNSSの操作、測量実習	9/10-11		14
・閉合測量と開放測量	9/12		7
・野帳整理、図面作成(GIS)	9/13	2	5
計		4	31

(2) GNSS・GIS・UAVに係る講義

内容	時期	講義	実習
・ドローン(UAV)の基礎知識と操作、三次元データの活用	10/1	3	4
・GNSSによる境界確認と維持管理			
・GNSS、GIS、UAVの基礎及び操作	11/8	2	3
・GNSS・GISによる施業地の管理	1/20		7
計		5	14

D3 調査測量

森林測量

担当	正	多田野 修、久保 真理子
	副	佐々木 純也、高橋 淳
講師	団体・企業名	
	(一社)岩手県治山林道協会	○
	国土防災技術(株)盛岡支店	○
	林業普及指導員	
	専門研究員	

研修時期と時限数

単位:時限

時期	講義	実習	計
R6.9.9 月 - 9.13 金	4	31	35
R6.10.1 火	3	4	7
R6.11.8 金	2	3	5
R7.1.20 月		7	7
計	9	45	54

研修場所

- ・教室、樹木園等
- ・別途指定の現場

研修教材

- ・林業実践ブック
- ・ポケットコンパス、オートレベル
- ・巻尺、メートル縄、レーザー距離計
- ・関数電卓、GPS、パソコン、ドローン

参考書

- ・林業GPS徹底活用術

評価方法と基準(4頁の「評価基準」による。)

- ・出講時限数、理解度テスト、技能テストにより評価する。
- ・技能テストは、ポケットコンパス測量とする。



バックホウの運転操作

背景と目的

車両系建設機械(整地・運搬・積込及び掘削)の運転技術を習得する。(労働安全衛生法第76条に掲げる技能講習の取得)

科目内容

車両系建設機械の走行、作業に関する知識、車両系建設機械の作業装置の操作、運転操作、関係法令。

到達目標

- ・車両系建設機械作業の基礎知識を理解している。
- ・車両系建設機械を安全に運転・操作できる。
- ・関係法令について理解している。
- ・技能講習を取得する。

講義内容及び時間数

内容	時期	講義	実習
・車両系建設機械の走行、作業に関する知識	5/23-24	14	
・関係法令			
・車両系建設機械の作業装置の操作、運転操作	6/4-7		28
計		14	28

評価方法と基準(4頁の「評価基準」による。)

- ・出講時限数、理解度テスト、技能テストにより評価する。
- ・技能テストは、資格取得とする。

特記事項

- ・既取得者は免除

E1 路網

車両系建設機械運転技術

担当	正	中山 英明	
	副	小田 善昭	
講師	団体・企業名		サポート
	機械研修講師		

研修時期と時限数

単位:時限

時期	講義	実習	計
R6.5.23 木 - 5.24 金	14		14
R6.6.4 火 - 6.7 金		28	28
計	14	28	42

研修場所

- ・教室、機械研修棟

研修教材

- ・建設業労働災害防止協会テキスト

参考書

—



不整地運搬車の運転操作

背景と目的

不整地運搬車の運転技術を習得する。(労働安全衛生法第76条に掲げる技能講習の取得)

科目内容

不整地運搬車の基礎知識、力学、関係法令、不整地運搬車の運転。

到達目標

- ・不整地運搬作業の基礎知識を理解している。
- ・不整地運搬車を安全に運転・操作できる。
- ・技能講習を取得する。

講義内容及び時間数

内容	時期	講義	実習
・不整地運搬車の知識	6/10-14	7	14
・力学の知識			
・関係法令			
・不整地運搬車の運転			
計		7	14

評価方法と基準(4頁の「評価基準」による。)

- ・出講時限数、理解度テスト、技能テストにより評価する。
- ・技能テストは、資格取得とする。

特記事項

- ・既取得者は免除

E2 路網

不整地運搬車運転技術

担当	正	中山 英明	
	副	小田 善昭	
講師	団体・企業名		サポート
	機械研修講師		

研修時期と時限数

単位:時限

時期	講義	実習	計
R6.6.10 月 - 6.14 金	7	14	21
計	7	14	21

研修場所

- ・教室、機械研修棟

研修教材

- ・建設業労働災害防止協会テキスト

参考書

—



森林作業道の作設

背景と目的

林道・森林作業道の重要性を理解し、その設計と作設技術を習得する。

科目内容

路網の役割、林道の種類・企画、林業機械と森林作業道、地形・地質の基礎知識、森林作業道の路線選定・設計、森林作業道の作設・維持管理。

到達目標

- ・林道の種類、規格を理解している。
- ・林道作設、維持管理を理解している。
- ・森林作業道の必要性・役割を理解している。
- ・森林作業道設計、作設の基礎的事項を理解している。
- ・基本的構造の森林作業道を作設できる。

講義内容及び時間数

内容	時期	講義	実習
・路網の役割	8/27-30	4	24
・林道の種類、規格、通行車両			
・林道の維持管理の基礎			
・林業機械と森林作業道	9/17-26	5	41
・地形・地質の基礎知識			
・森林作業道の路線選定、設計			
・森林作業道の作設			
・森林作業道の維持管理			
計		9	65

評価方法と基準(4頁の「評価基準」による。)

- ・出講時間数、理解度テスト、技能テストにより評価する。
- ・技能テストは、森林作業道の作設作業とする。

E3 路網

林道・森林作業道

担当	正	小田 善昭	
	副	佐々木 純也	
講師	団体・企業名		サポート
	素材生産事業体		
	専門研究員		

研修時期と時間数

単位: 時間

時期	講義	実習	計
R6.8.27 火 - 8.30 金	4	24	28
R6.9.17 火 - 9.26 木	5	41	46
計	9	65	74

研修場所

- ・教室、機械研修棟
- ・別途指定の現場

研修教材

- ・林業実践ブック
- ・森林作業道づくり
- ・油圧ショベル、伐採用具、測量用具

参考書

—



植栽作業

背景と目的

森林資源を維持するための、更新(人工造林・天然更新)の基本的事項を理解し、本県の課題でもある低コスト施業の基本となる低密度植栽、一貫作業システムに係る知識と技術を習得する。

科目内容

人工造林の基礎知識、一貫作業システムの意義・手法、地拵え、低密度植栽の方法、コンテナ苗生産とコンテナ苗の植栽方法、天然更新の状況。

到達目標

- ・人工造林の基礎知識を習得している。
- ・裸苗、コンテナ苗の生産方法を理解している。
- ・一貫作業システムの考え方、手法を理解している。
- ・低密度植栽の考え方、手法を理解している。
- ・裸苗・コンテナ苗を適切に植栽することができる。
- ・天然更新の考え方、手法を理解している。

講義内容及び時間数

内容	時期	講義	実習
・コンテナ苗の生産と特性	5/10	1	3
・機械地拵え等一貫作業の施工状況(事業体の施工現場)	5/10	1	2
・低コスト施業と一貫作業システム等	5/16、21、22	4	17
・天然更新の状況	5/27	3	4
計		9	26

評価方法と基準(4頁の「評価基準」による。)

- ・出講時限数、理解度テスト、技能テストにより評価する。
- ・技能テストは、植栽作業とする。

F1 造林育林

造林・更新			
担当	正	小田 善昭	
	副	佐々木 純也	
講師	団体・企業名		サポート
	岩手県山林種苗協同組合		○
	小岩井農牧(株)山林部		○
	(国研)森林総合研究所東北支所 保育事業体		

研修時期と時限数

単位:時限

時期	講義	実習	計
R6.5.10 金 - 5.22 水	6	22	28
R6.5.27 月	3	4	7
計	9	26	35

研修場所

- ・教室
- ・別途指定の現場

研修教材

- ・林業実践ブック
- ・苗木
- ・鍬等の植栽、測量用具

参考書

—





下刈作業

背景と目的

刈払い機等の安全な操作技術を習得する。(平成12年2月16日付け基発第66号による安全衛生教育の取得を含む)

科目内容

刈払い機の基礎知識と関係法令、振動障害とその予防、刈払い作業、刈払い機の操作・点検・整備、刈払いの安全装備。

到達目標

- ・刈払い作業、機械の基礎知識を習得している。
- ・関係法令、振動障害とその予防について理解している。
- ・安全に下刈作業を行うことができる。
- ・刈払い機を適切にメンテナンスすることができる。

講義内容及び時間数

内容	時期	講義	実習
・関係法令	4/23-24	7	3
・刈払い機の知識、方法			
・振動障害及びその予防に関する知識			
・刈払い作業	6/11-12	2	12
・刈払い機の操作、点検及び整備			
・下刈の基礎知識、方法	6/25	1	4
・下刈時の安全装備	7/8-9		27
・下刈作業	7/17		
	8/20-21		
計		10	46

評価方法と基準(4頁の「評価基準」による。)

- ・出講時限数、理解度テスト、技能テストにより評価する。
- ・技能テストは、資格取得、下刈作業とする。

F2 造林育林

刈払い・下刈

担当	正	佐々木 純也	
	副	小田 善昭	
講師	団体・企業名		サポート
	ハスクバーナ・ゼノア(株)		○
	小岩井農牧(株)山林部		○
	保育事業体		
	専門研究員		

研修時期と時限数

単位:時限

時期	講義	実習	計
R6.4.23 火 - 4.24 水	7	3	10
R6.6.11 火 - 6.12 水	2	12	14
R6.6.25 火	1	4	5
R6.7.8 月 - 7.17 水		17	17
R6.8.20 火 - 8.21 水		10	10
計	10	46	56

研修場所

- ・教室、機械研修棟
- ・別途指定の現場

研修教材

- ・林業実践ブック
- ・鎌、刈払い機等の下刈、測量用具

参考書

—



間伐作業

背景と目的

本県では、適切な間伐の推進が課題であり、間伐の実施に必要な、混み具合の指標、選木の方法等を習得するとともに、かかり木の適切な処理、伐倒精度の向上等、安全な作業に必要な技術とシステム作業による効率的な生産技術を習得する。

科目内容

間伐の基礎知識、安全装備、木の重心の把握と伐倒方向の選定、伐倒時の安全確認動作、チェーンソーやクサビ、ウインチ等の使用方法、安全なかかり木処理の方法、高性能林業機械のシステム作業による生産間伐。

到達目標

- ・林分の込み具合を把握し、選木することができる。
- ・安全な伐倒方向を選定し、その方向に伐倒できる。
- ・かかり木を適切な方法により処理できる。
- ・伐倒時に必要な安全確認動作が身についている。
- ・高性能林業機械のシステム作業を理解し操作できる。
- ・高性能林業機械のメンテナンスを適切に行える。

講義内容及び時間数

内容	時期	講義	実習
・間伐の基礎知識、種類、方法	11/6-7	3	5
・間伐におけるシステム作業			
・木の重心の見方、伐倒方向の決め方	11/11-14 11/18-22	3	59
・システム作業による生産間伐			
・かかり木の処理			
・高性能林業機械のメンテナンス			
計		6	64

評価方法と基準(4頁の「評価基準」による。)

- ・出講時限数、理解度テスト、技能テストにより評価する。
- ・技能テストは、かかり木の処理とする。

F3 造林育林

間伐			
担当	正	高橋 淳	
	副	小田 善昭	
講師	団体・企業名		サポート
	素材生産事業体		
	林業普及指導員		
	専門研究員		

研修時期と時限数

単位:時限

時期	講義	実習	計
R6.11.6 水 - 11.22 金	6	64	70
計	6	64	70

研修場所

- ・教室、機械研修棟
- ・別途指定の現場

研修教材

- ・林業実践ブック
- ・刈払い、伐採、測量用具

参考書

—



枝打ち作業

背景と目的

林木を健全に育成するための保育作業の重要性を理解し、基礎的な作業技術を習得する。

科目内容

つる切り、除伐、枝打ちの基礎知識と基礎技術、広葉樹の保育作業の基礎知識と基礎技術、特殊伐採の基礎知識とロープワーク。

到達目標

- ・つる切、除伐、枝打作業を適切に実施できる。
- ・広葉樹の保育作業の内容、時期、方法を理解している。
- ・特殊場伐採の基礎知識を理解し、基本的なロープワークを習得している。

講義内容及び時間数

内容	時期	講義	実習
・特殊伐採の基礎知識	10/28	1	6
・ロープワーク			
・つる切、除伐、枝打の基礎知識・技術	11/6	1	8
・広葉樹の保育作業の基礎知識・技術	11/15		
計		2	14

評価方法と基準(4頁の「評価基準」による。)

- ・出講時限数、理解度テスト、技能テストにより評価する。
- ・技能テストは、ロープの使い方とする。

F4 造林育林

つる切、除伐、枝打等

担当	正	多田野 修	
	副	佐々木 純也	
講師	団体・企業名		サポート
	(株)徳風		○
	保育事業体		
	林業普及指導員		
	専門研究員		

研修時期と時限数

単位:時限

時期	講義	実習	計
R6.10.28 月	1	6	7
R6.11.6 水	1	1	2
R6.11.15 金		7	7
計	2	14	16

研修場所

- ・教室、機械研修棟
- ・別途指定の現場

研修教材

- ・林業実践ブック
- ・鋸、鉋等の作業用具
- ・刈払い、伐採、測量用具
- ・ロープ

参考書

—



チェーンソーの操作

背景と目的

チェーンソー等の安全な操作技術を習得する。(労働安全衛生規則第36条第8号に掲げる業務に係る特別教育の取得を含む)

科目内容

チェーンソー作業の基礎知識・関係法令、振動障害とその予防、チェーンソーの操作・メンテナンス、木に加わる力、丸太の造材、立木の伐倒、安全な伐木造材作業。

到達目標

- ・安全に伐木造材作業を行うことができる。
- ・特別教育の取得。
- ・伐倒に係る受け口、追い口を適切に切削できる。
- ・チェーンソーを適切にメンテナンスできる。

講義内容及び時間数

内容	時期	講義	実習
・チェーンソーの知識、伐木の方法	4/22-26	8	7
・関係法令			
・振動障害及びその予防に関する知識			
・チェーンソーの操作、点検及び整備			
・ソーチェーンの目立て	5/9 -2/28	7	136
・木に加わる力(圧縮、張力)			
・丸太の造材方法			
・立木の伐倒方法			
・安全な伐木造材作業	計	20	155

評価方法と基準(4頁の「評価基準」による。)

- ・出講時間数、理解度テスト、技能テストにより評価する。
- ・技能テストは、資格取得、伐木作業とする。

G1 素材生産

チェーンソー伐木造材技術

担当	正	小田 善昭	
	副	小澤 洋一	
講師	団体・企業名		サポート
	(株)スチール		○
	ハスクバーナ・ゼノア(株)		○
	(有)樋口金物機工		○
	素材生産事業体		

研修時期と時限数

単位:時限

時期	講義	実習	計
R6.4.22 月 - 4.26 金	11	13	24
R6.5.9 木 - 5.17 金	3	28	31
R6.7.1 月 - 7.31 水	1	27	28
R6.8.1 木 - 8.26 月	3	22	25
R6.9.2 月 - 9.6 金		32	32
R7.1.27 月 - 1.30 木		21	21
R7.2.13 木 - 2.28 金	2	12	14
計	20	155	175

研修場所

- ・教室、機械研修棟
- ・別途指定の現場

研修教材

- ・林業実践ブック
- ・チェーンソー操作マニュアル
- ・チェーンソー等の伐採用具
- ・伐倒練習機(Felling Trainer MTW-01)

参考書

- ・納得して上達！伐木造材術
- ・林業現場人 道具と技



高性能林業機械の操作

背景と目的

伐木等機械の運転技術を習得する。(労働安全衛生規則第36条第6号の2、3及び第7号の2に掲げる業務に係る特別教育の取得を含む) また、生産性が高く、本県に適合した作業システムを習得する。

科目内容

伐木等機械、走行集材機械、簡易架線集材装置等の基礎知識と技術、関係法令、高性能林業機械の安全な操作、適切な作業システム(機械の組合せ)、各機械のメンテナンス、高性能林業機械の開発と新たなシステム作業、地域に適合したシステム作業、シュミレータによるハーベスタ操作。

到達目標

- ・構造・機能を理解し、保守・部品交換等点検・メンテナンスを定期的に行うための知識を学び技術を習得している。
- ・複数の機械によるシステム作業(ハーベスタ、プロセッサ、スイングヤード、タワーヤード、グラップル、フォワーダ、スキッド)を安全に行うことができる。
- ・高性能林業機械のメンテナンスを適切に実施できる。
- ・特別教育の取得

講義内容及び時間数

内容	時期	講義	実習
・伐木等機械、走行集材機械、簡易架線集材装置等に関する知識、安全かつ効率的作業のための装置の操作	6/17-21	14	21
・高性能林業機械によるシステム作業の基礎(ハーベスタ・プロセッサ・フォワーダ・グラップル)	6/26	2	5
・高性能林業機械の安全と生産性	6/27	2	5
・高性能林業機械のメンテナンス①	6/28	2	5
・高性能林業機械の操作	7/29-2/5		28
・高性能林業機械の開発・製造	1/22	1	2
・地域に適合したシステム作業	1/31	2	4
・高性能林業機械のメンテナンス②	2/6	1	5
計		24	75

G2 素材生産

高性能林業機械運転技術

担当	正	小田 善昭	
	副	小澤 洋一	
講師	団体・企業名		サポート
	イワフジ工業(株)		○
	(株)レンタルのニッケン北東北支店		○
	日立建機日本(株)盛岡営業所		○
	素材生産事業体		
専門研究員			

研修時期と時間数

単位: 時限

時期	講義	実習	計
R6.6.17 月 - 6.28 金	20	36	56
R6.7.29 月		7	7
R7.1.22 水 - 1.31 金	3	6	9
R7.2.3 月 - 2.6 木	1	26	27
計	24	75	99

研修場所

- ・教室、機械研修棟
- ・別途指定の現場

研修教材

- ・林業機械化協会テキスト
- ・各機械操作マニュアル
- ・伐木等の林業機械
- ・チェンソー等の伐採用具

参考書

- ・林業現場人 道具と技

評価方法及び基準(4頁の「評価基準」による。)

- ・出講時間数、理解度テスト、技能テストにより評価する。
- ・技能テストは、資格取得、機械の運転操作とする。



玉掛け作業

背景と目的

素材生産に必要となる玉掛け技術を習得する。(労働安全衛生法第76条に掲げる技能講習の取得)

科目内容

クレーン等に関する知識、玉掛けの方法、関係法令、クレーン等による玉掛け作業。

到達目標

- ・玉掛け作業の基礎を理解している。
- ・安全に玉掛け作業を行うことができる。
- ・技能講習を取得する。

講義内容及び時間数

内容	時期	講義	実習
・クレーン等に関する知識	7/22-24	14	7
・クレーン等の玉掛けの方法			
・関係法令			
・クレーン等の玉掛け作業			
計		14	7

評価方法と基準(4頁の「評価基準」による。)

- ・出講時間数、理解度テスト、技能テストにより評価する。
- ・理解度、技能テストは、資格取得とする。

特記事項

- ・既取得者は免除
- ・その他、科目の一部免除あり

G3 素材生産

玉掛け技術

担当	正	中山 英明
	副	小田 善昭
講師	団体・企業名	
	(公社)ボイラ・クレーン安全協会	
	サポート	

研修時期と時限数

単位:時限

時期	講義	実習	計
R6.7.22 月 - 7.24 水	14	7	21
計	14	7	21

研修場所

・ボイラ・クレーン安全協会岩手事務所

研修教材

・ボイラ・クレーン安全協会テキスト

参考書

—



小型移動式クレーンの運転

背景と目的

素材生産に必要となる小型移動式クレーンの運転技術を習得する。(労働安全衛生法第76条に掲げる技能講習の取得)

科目内容

小型移動式クレーン、原動機・電気・力学に関する知識、関係法令、小型移動式クレーンの運転・合図。

到達目標

- ・小型移動式クレーン作業の基礎を学ぶ。
- ・小型移動式クレーンの運転方法を習得する。

講義内容及び時間数

内容	時期	講義	実習
・小型移動式クレーンの知識	12/9-11	14	7
・原動機及び電気の知識			
・力学の知識			
・関係法令			
・小型移動式クレーンの運転			
・運転の合図			
計		14	7

評価方法と基準(4頁の「評価基準」による。)

- ・出講時限数、理解度テスト、技能テストにより評価する。
- ・理解度、技能テストは、資格取得とする。

特記事項

- ・既取得者は免除
- ・その他、科目の一部免除あり

G4 素材生産

小型移動式クレーン運転技術

担当	正	中山 英明
	副	小田 善昭
講師	団体・企業名	
	(公社)ボイラ・クレーン安全協会	
	サポート	

研修時期と時限数

単位:時限

時期	講義	実習	計
R6.12.9 月 - 12.11 水	14	7	21
計	14	7	21

研修場所

- ・ボイラ・クレーン安全協会岩手事務所

研修教材

- ・ボイラ・クレーン安全協会テキスト

参考書

—



素材生産作業

背景と目的

習得した知識と技術により、高性能林業機械によるシステム作業による素材生産を習得する。

科目内容

チェンソーによる伐木造材、プロセッサとハーベスタによる伐木造材、スイングヤーダによる集材、フォワーダによる運搬、グラップルによる集材とはい積み、各種機械のメンテナンス、システム作業の設計と収支予測、コンパス・GNSS・GISによる施工地管理、伝統的林業と世界の林業。

到達目標

- ・高性能林業機械によるシステム作業を設計できる。
- ・チェンソーにより安全に伐木造材作業を行える。
- ・各種高性能林業機械を安全に操作できる。
- ・GNSS・GISにより施工地を管理できる。

講義内容及び時間数

内容	時期	講義	実習
・伝統的素材生産技術の視察体験実習	2/12		7
・コンパス、GNSS・GISによる測量	2/14		7
・チェンソーによる伐木造材実習	2/17-27		56
・高性能林業機械による素材生産実習			
・各種機械のメンテナンス			
・世界の林業(システム・規模)	3/5	3	
計		3	70

評価方法と基準(4頁の「評価基準」による。)

- ・出講時限数、理解度テスト、技能テストにより評価する。
- ・技能テストは、検知とする。

G5 素材生産

素材生産総合技術			
担当	正	小田 善昭	
	副	多田野 修	
講師	団体・企業名		サポート
	素材生産事業体		
	林業普及指導員		
	専門研究員		

研修時期と時限数

単位:時限

時期	講義	実習	計
R7.2.12 水 - 2.27 木		70	70
R7.3.5 水	3		3
計	3	70	73

研修場所

- ・教室、機械研修棟
- ・別途指定の現場



研修教材

- ・林業実践ブック
- ・各機械操作マニュアル
- ・伐木等の林業機械
- ・チェンソー等の伐採用具
- ・伐倒練習機(Felling Trainer MTW-01)

参考書

- ・納得して上達！伐木造材術
- ・林業現場人 道具と技



松くい虫被害木の処理実習

背景と目的

本県で発生している主な森林病虫害について理解し、適切な防除技術を習得する。

科目内容

森林被害と保護対策の概要、気象害の種類と対策、松くい虫・ナラ枯れ被害等の基礎知識と対策、スギ穿孔性害虫の被害と木材への影響、松くい虫・ナラ枯れ被害木の駆除処理。

到達目標

- ・森林病虫害のメカニズムと被害対策を理解している。
- ・スギ穿孔性害虫の被害を判別できる。
- ・松くい虫被害の伐倒くん蒸処理を行うことができる。

講義内容及び時間数

内容	時期	講義	実習
・森林被害と保護対策の概要	5/30-31	2	12
・気象害の種類と対策			
・松くい虫被害と対策			
・ナラ枯れ被害と対策			
・スギ穿孔性害虫の被害と対策			
・被害による木材への影響			
・被害木の処理実習			
計		2	12

評価方法と基準(4頁の「評価基準」による。)

- ・出講時間数、理解度テストにより評価する。

H1 森林保護

森林保護対策

担当	正	多田野 修	
	副	小澤 洋一	
講師	団体・企業名		サポート
	素材生産事業体		
	県森林整備課		
	林業普及指導員		
	専門研究員		

研修時期と時間数

単位:時限

時期	講義	実習	計
R6.5.30 木 - 5.31 金	2	12	14
計	2	12	14

研修場所

- ・教室
- ・被害、防除対策の現場

研修教材

- ・林業技術センター新技術解説シリーズ
- ・チェンソー等の伐採用具
- ・松くい虫被害木処理資材

参考書

—



鳥獣被害対策

背景と目的

近年被害が拡大しているニホンジカ等の被害状況と被害対策を理解し、防除対策、狩猟に関する基礎知識と技術を習得する。

研修科目

- ・鳥獣被害と防除対策、主要鳥獣の生態、狩猟、シカ被害の実態と防除対策。

到達目標

- ・主要な鳥獣被害と防除対策を理解している。
- ・主要な鳥獣被害を判別できる。

講義内容及び時間数

内容	時期	講義	実習
・鳥獣被害と防除対策の概要	7/3	2	5
・主要鳥獣の生態			
・鳥獣被害対策としての狩猟			
・狩猟に関する法令	7/4	2	5
・狩猟に用いる猟具			
・鳥獣被害対策現場視察	12/16	2	5
・シカ被害の実態と防除対策			
計		6	15

評価方法と基準(4頁の「評価基準」による。)

- ・出講時限数、理解度テストにより評価する。

H2 森林保護

鳥獣害対策

担当	正	小田 善昭	
	副	中山 英明	
講師	団体・企業名		サポート
	岩手県猟友会		
	県自然保護課 林業普及指導員		
	専門研究員		

研修時期と時限数

単位:時限

時期	講義	実習	計
R6.7.3 水 - 7.4 木	4	10	14
R6.12.16 月	2	5	7
計	6	15	21

研修場所

- ・教室
- ・被害、防除対策の現場

研修教材

- ・林業実践ブック
- ・罨

参考書

- ・狩猟読本





盛岡木材流通センター

背景と目的

原木の種類、規格、品質、価格等、需要動向について理解する。

研修科目

原木市場、丸太採材の方法、樹種と品質、岩手県の原木特徴と市場価値。

到達目標

- ・市場を通じた原木の流通について理解している。
- ・原木の種類、規格、品質、価格について理解している。

講義内容及び時間数

内容	時期	講義	実習
・木材流通センターの視察	5/20	1	2
・丸太採材の方法			
・樹種、品質の見方	10/30	1	3
・いわての原木の特徴、価値			
計		2	5

評価方法と基準(4頁の「評価基準」による。)

- ・出講時間数、理解度テストにより評価する。



11 木材利用

原木市場

担当	正	佐々木 純也	
	副	多田野 修	
講師	団体・企業名		サポート
	岩手県森林組合連合会		○

研修時期と時限数

単位:時限

時期	講義	実習	計
R6.5.20 月	1	2	3
R6.10.30 水	1	3	4
計	2	5	7

研修場所

- ・盛岡木材流通センター

研修教材

- ・林業実践ブック
- ・別途配付

参考書

—



(有)マルヒ製材

背景と目的

近年、本県では多くの大型加工施設が稼働しており、生産された原木の受け皿ともなっている。主要な加工施設の状況を理解し、林業経営や原木生産の参考とする。

研修科目

製材工場の生産状況、集成材・プレカット工場の生産状況、チップ・パルプ製造工場の生産状況、合板工場の生産状況。

到達目標

- ・各種工場の製品と製材工程を理解している。
- ・原木の受け入れ規格・量等について理解している。
- ・各種製品の用途について理解している。

講義内容及び時間数

内容	時期	講義	実習
・製材工場の視察	10/31	2	2
・集成材、プレカット工場の視察	12/17	2	2
・チップ、パルプ製造工場の視察	1/22	2	2
・合板工場の視察	1/28	2	5
計		8	11

評価方法と基準(4頁の「評価基準」による。)

- ・出講時間数、理解度テストにより評価する。

12 木材利用

木材加工

担当	正	中山 英明	
	副	多田野 修	
講師	団体・企業名		サポート
	岩手県チップ協同組合		○
	岩手県木材産業協同組合		○
	北上プライウッド(株)		

研修時期と時間数

単位: 時間

時期	講義	実習	計
R6.10.31 木	2	2	4
R6.12.17 火	2	2	4
R7.1.22 水	2	2	4
R7.1.28 火	2	5	7
計	8	11	19

研修場所

- ・(株)ウツティかわい
- ・北上ハイテクペーパー(株)
- ・北上プライウッド(株)
- ・新北菱林産(株)
- ・(有)マルヒ製材

ほか

研修教材

- ・別途配付

参考書

—





木造建築住宅現場

背景と目的

本県の代表的な木造建築に触れ、木材利用の歴史、文化を理解する。

研修科目

木造住宅建築現場の視察。

到達目標

- ・木材利用の歴史と文化を理解している。
- ・公共施設の木質化の状況と意義を理解している。
- ・伝統的な工法(在来軸組)について理解している。

講義内容及び時間数

内容	時期	講義	実習
・木造住宅建築現場の視察	10/30	2	1
計		2	1

評価方法と基準(4頁の「評価基準」による。)

- ・出講時間数、理解度テストにより評価する。

13 木材利用

木造建築

担当	正	中山 英明	
	副	多田野 修	
講師	団体・企業名		サポート
	岩手県森林組合連合会		○
	木造建築士		

研修時期と時限数

単位:時限

時期	講義	実習	計
R6.10.30 水	2	1	3
計	2	1	3

研修場所

- ・木造住宅の建築現場

研修教材

- ・別途配付

参考書

—



林業技術センターのチップボイラー

背景と目的

本県では、木質バイオマスエネルギーの活用が進められており、生産された原木の需要先ともなっている。木材のエネルギー利用と関連施設について理解する。

研修科目

熱エネルギー利用施設、チップと薪、木質バイオマス発電。

到達目標

- ・木質バイオマスエネルギーの活用状況を理解している。
- ・原木の出荷方法、規格等について理解している。
- ・薪の生産方法、需要先等について理解している。

講義内容及び時間数

内容	時期	講義	実習
・熱エネルギー利用施設の視察	10/31	2	1
・チップ、薪製造工場の視察	12/17	2	1
・木質バイオマス発電工場の視察			
計		4	2

評価方法と基準(4頁の「評価基準」による。)

- ・出講時間数、理解度テストにより評価する。



14 木材利用

木質バイオマス利用

担当	正	佐々木 純也	
	副	多田野 修	
講師	団体・企業名		サポート
	岩手県木材産業協同組合		○
	林業普及指導員		
	専門研究員		

研修時期と時間数

単位: 時限

時期	講義	実習	計
R6.10.31 木	2	1	3
R6.12.17 火	2	1	3
計	4	2	6

研修場所

- ・センター施設
 - ・(株)ウツティかわい
 - ・(有)マルヒ製材
- ほか

研修教材

- ・別途配付

参考書

—





原木シイタケ実習

背景と目的

東日本最大の生産地である、本県の原木シイタケ生産の基礎知識・生産技術を理解する。

研修科目

シイタケの生態、シイタケの生産方法、生産現場の視察、植菌と収穫。

到達目標

- ・シイタケの生態を理解している。
- ・原木シイタケの生産方法を理解している。
- ・生産規模等、シイタケ生産の経営を理解している。

講義内容及び時間数

内容	時期	講義	実習
・シイタケの生態	5/7	2	5
・シイタケ原木の生産			
・シイタケ生産の方法、道具、経営			
・原木シイタケの生産現場視察	6/3	1	3
・収穫作業体験実習			
・植菌作業体験実習	2/7	2	5
・仮伏せ、本伏せ作業体験実習			
計		5	13

評価方法と基準(4頁の「評価基準」による。)

- ・出講時限数、理解度テストにより評価する。

J1 特用林産

原木シイタケ生産

担当	正	中嶋 康	
	副	中山 英明	
講師	団体・企業名		サポート
	しいたけ生産技術指導地域リーダー		
	林業普及指導員		
	専門研究員		

研修時期と時限数

単位:時限

時期	講義	実習	計
R6.5.7 火	2	5	7
R6.6.3 月	1	3	4
R7.2.7 金	2	5	7
計	5	13	18

研修場所

- ・教室、きのこ栽培試験地
- ・シイタケ生産現場

研修教材

- ・乾シイタケ生産のてびき

参考書

—



(有)谷地林業 木炭生産

背景と目的

本県は、国内有数の木炭の産地であり、広葉樹資源の有効利用の一環として、木炭生産の基礎知識・生産技術を理解する。

研修科目

原木生産、木炭生産、選別出荷作業。

到達目標

- ・木炭の生産方法を学ぶ。
- ・木炭、木酢液の利用方法を学ぶ。

講義内容及び時間数

内容	時期	講義	実習
・原木の生産	6/24	2	5
・木炭生産の方法、道具			
・木炭の生産現場視察			
・原木割、立込み作業体験実習			
・炭だし作業体験実習			
計		2	5

評価方法と基準(4頁の「評価基準」による。)

- ・出講時限数、理解度テストにより評価する。



12 特用林産

木炭生産

担当	正	中嶋 康	
	副	佐々木 純也	
講師	団体・企業名		サポート
	(一社)岩手県木炭協会		○
	林業普及指導員		

研修時期と時限数

単位:時限

時期	講義	実習	計
R6.6.24 月	2	5	7
計	2	5	7

研修場所

- ・教室
- ・(有)谷地林業

研修教材

- ・別途配付

参考書

—





漆掻き

背景と目的

本県は国内屈指の漆の産地であり、文化財の修復等の需要の高まりの中、生産増が課題となっている。漆生産の基礎知識と生産技術について理解する。

研修科目

岩手県の漆生産、漆生産の概要、漆器の製造。

到達目標

- ・漆の歴史、漆生産について理解している。
- ・漆の用途について理解している。

講義内容及び時間数

内容	時期	講義	実習
・漆の生産	7/18	2	5
・漆掻きの道具			
・漆苗木の生産現場視察			
・漆掻きの現場視察			
・漆器製造の現場視察			
計		2	5

評価方法と基準(4頁の「評価基準」による。)

- ・出講時限数、理解度テストにより評価する。



13 特用林産

漆生産

担当	正	中嶋 康	
	副	中山 英明	
講師	団体・企業名		サポート
	浄法寺漆生産組合ほか		
	林業普及指導員		

研修時期と時限数

単位:時限

時期	講義	実習	計
R6.7.18 木	2	5	7
計	2	5	7

研修場所

- ・浄法寺歴史民俗資料館
- ・浄法寺町内の漆生産現場

研修教材

- ・別途配付

参考書

—



林間ワサビ

背景と目的

本県は国内有数の畑ワサビの産地であり、林地を活用した栽培が広く行われている。
林間での畑ワサビ(林間ワサビ)の栽培による森林の複合的活用について学ぶ。

研修科目

林間ワサビの生産状況、林間ワサビの生産方法と利用。

到達目標

- ・林間ワサビの生産方法を理解している。
- ・林間ワサビの利用方法を理解している。

講義内容及び時間数

内容	時期	講義	実習
・林内の環境とワサビ	4/19	2	5
・林間ワサビの生産			
・ワサビ生産の道具			
・ワサビの利用			
・林間ワサビの生産現場視察			
・林間ワサビの生産体験実習			
計		2	5

評価方法と基準(4頁の「評価基準」による。)

- ・出講時間数、理解度テストにより評価する。

14 特用林産

林間ワサビ生産

担当	正	中嶋 康	
	副	中山 英明	
講師	団体・企業名		サポート
	中沢畑わさび研究会ほか		
	林業普及指導員		

研修時期と時限数

単位:時限

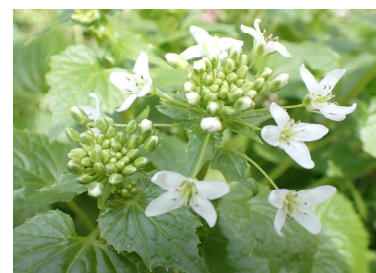
時期	講義	実習	計
R6.4.19 金	2	5	7
計	2	5	7

研修場所

- ・遠野市森林総合センター
- ・遠野市内の林間ワサビ生産現場

研修教材

- ・別途配付



参考書

—



就業体験研修

背景と目的

本県の林業事業体について把握し、就業体験研修を通じて林業への理解を深めるとともに、実務を経験する。

研修科目

就職説明会、求人情報の収集、就業体験、研修レポートの作成と発表。

到達目標

- ・様々な資料を検索し、求人情報を収集することができる。
- ・就業体験研修を実施する。
- ・研修レポートを作成し、発表することができる。

講義内容及び時間数

内容	時期	講義	実習
・就職説明会への参加	8/23	2	5
・求人票や企業情報の見方			
・就業体験の連絡調整、準備	7/9 10/4 11/22		3
・就業体験の実施	7/10- 12/6		154
・研修レポート(就業体験)の作成	7/16 10/21 12/13		9
・研修レポート(就業体験)の発表	7/16 10/21 12/13		12
計		2	183

評価方法と基準(4頁の「評価基準」による。)

- ・出講時間数、研修レポートにより評価する。

K1 就業体験

就業体験			
担当	正	多田野 修	
	副	小田 善昭、中山 英明	
講師	団体・企業名		サポート
	(公財)岩手県林業労働対策基金		○
	サポートチーム構成員		○

研修時期と時間数

単位: 時間

時期	講義	実習	計
R6.7.9 火 - 7.12 金		22	22
R6.7.16 火		7	7
R6.8.23 金	2	5	7
R6.10.4 金 - 10.18 金		64	64
R6.10.21 月		7	7
R6.11.22 金 - 12.6 金		71	71
R6.12.13 金		7	7
計	2	183	185

研修場所

- ・教室、大講義室
- ・サポートチーム構成員の事務所・現場

研修教材

- ・別途配付

参考書

- ・就業体験研修協力調査票
- ・求人票
- ・企業情報





岩手県林業技術センター

背景と目的

社会人としての規律・規範意識、職場環境改善のイメージを構築する。

科目内容

研修に係る要領等の基本事項を確認し、施設や林業機械の清掃、貸与物品の整理整頓、清掃を行う。

到達目標

- ・研修や就業に順応するための規則を習得する。
- ・コミュニケーションの取り方を学ぶ。
- ・環境整備の大切さを学び、意識を向上させる。

講義内容及び時間数

内容	時期	講義	実習
・開講式、閉講式	4/10、3/10	6	
・研修要領等の基本事項の確認	4/11	3	
・物品の整理整頓	3/7		1
・施設の環境整備	3/7		2
計		9	3

評価方法と基準(4頁の「評価基準」による。)

- ・出講時間数により評価する。



L1 総合講義

オリエンテーション

担当	正	小澤 洋一 ほか
	副	中山 英明
講師	団体・企業名	
	—	
	サポート	

研修時期と時限数

単位:時限

時期	講義	実習	計
R6.4.10 水 - 4.11 木	6		6
R7.3.7 金 - 3.10 月	3	3	6
計	9	3	12

研修場所

- ・教室、大講義室
- ・機械研修棟、樹木園等

研修教材

- ・別途配付

参考書

—



ビジネスマナー研修

背景と目的

職場や地域社会で多様な人々と仕事をしていくために必要な基礎を理解する。

科目内容

コミュニケーションやビジネスマナー、プレゼンなど、社会人として必要な基本事項の実習を行い、年間を通し実施した研修のレポートを作成発表する。

到達目標

- ・コミュニケーションの取り方を習得する。
- ・社会人、ビジネスマナーを習得する。
- ・プレゼンテーションの仕方を習得する。
- ・生活とお金について学ぶ。

講義内容及び時間数

内容	時期	講義	実習
・コミュニケーションの心理、技術	4/15	3	3
・あいさつ、電話応対等の訓練	4/16	3	3
・名刺交換等のビジネスマナーの訓練			
・生活とお金	4/18	2	
・伝わりやすい話し方、資料作成	7/5	3	4
・自己啓発への取組	8/5-1/10		119
・個人面談	4/12-11/8	18	
・研修レポート(修了)の作成	3/3-5	4	14
・研修レポート(修了)の発表	3/6		7
・就業に向けた取組	3/7	4	
計		37	150

評価方法と基準(4頁の「評価基準」による。)

- ・出講時間数、研修レポートにより評価する。

L2 総合講義

社会人基礎

担当	正	小田 善昭	
	副	小澤 洋一	
講師	団体・企業名		サポート
	(公財)岩手県林業労働対策基金		○
	社会人研修講師		
	専門研究員		

研修時期と時間数

単位: 時限

時期	講義	実習	計
R6.4.15 月 - 4.18 木	14	6	20
R6.7.5 金	3	4	7
R6.8.5 月 - 8.9 金		35	35
R6.8.19 月 - 8.21 水	6		6
R6.11.6 水 - 11.8 金	6		6
R6.12.18 水 - 12.26 木		49	49
R7.1.6 月 - 1.10 金		35	35
R7.3.3 月 - 3.7 金	8	21	29
計	37	150	187

研修場所

- ・教室、大講義室、面談室等

研修教材

- ・別途配付

参考書

—

IX いわて林業アカデミーサポートチーム

1 目的

いわて林業アカデミーにおいて、県内の森林・林業・木材産業等に精通した企業及び団体が有する専門的な知識と技術を活用し、研修の質的充実を図ることを目的とする。

2 構成員（令和6年3月31日現在）

一般社団法人岩手県治山林道協会

一般社団法人岩手県木炭協会

岩手県国有林材生産協同組合連合会

岩手県山林種苗協同組合

岩手県森林組合連合会

岩手県森林整備協同組合

岩手県チップ協同組合

岩手県木材産業協同組合

公益財団法人岩手県林業労働対策基金

ノースジャパン素材流通協同組合

イワフジ工業株式会社

株式会社スチール

株式会社レンタルのニッケン北東北支店

国土防災技術株式会社盛岡支店

ハスクバーナ・ゼノア株式会社

日立建機日本株式会社盛岡営業所

有限会社樋口金物機工

株式会社徳風

クイック株式会社

小岩井農牧株式会社山林部

有限会社二和木材

以上 21 団体・企業





いわて林業アカデミー 令和6年度 研修カリキュラム Syllabus 2024

岩手県林業技術センター

〒028-3623

岩手県紫波郡矢巾町大字煙山第3地割 560番地 11

電話：019-697-1536 FAX：019-697-1410

<http://www2.pref.iwate.jp/~hp1017/>



Facebookもチェック



いわて林業アカデミー

<https://www.facebook.com/iwate.forestry.academy>

